

教務旬報

登校日数
95/197

教務通信 第10号 令和元年9月25日

後期の総合的な学習の時間が始まります

後期の総合的な学習が始まります。第1回目の学習は、10月11日（金）に実施します。前期と同じように、4日間（各4単位時間）で行います。「必履修」の学習ですので、休まないようにしましょう。担当の先生からの、事前の連絡を確認してください。

実施予定表 10月11日（金）

	テーマ	活動内容	活動場所
I部	「社会へ出る」講座	・オリエンテーション ・裁判所見学	63 山形地方裁判所
	山形の企業を知る	・就職について考える ・ソーシャルスキルトレーニング講話	66 情報室2
	わが町・山形のPRパンフレットづくり	・山形市観光センターによる講義 ・演習	視聴覚室
	研修旅行事前学習	・研修旅行ガイダンス ・日程確認 ・班編成	63
II部	山形の企業を知る	・就職について考える ・ソーシャルスキルトレーニング講話	66
	赤十字救急法	・心肺蘇生法実習 ・レポート作成	被服室 視聴覚室
	紙を使って学ぶ	・調べ学習 ・「地震の原理」教材準備	情報室2 物理室
	研修旅行事前学習	・研修旅行ガイダンス ・日程確認 ・班編成	63
III部	ライフスキル講座	・オリエンテーション ・自己理解	61
	郷土の観光	・調べ学習 ・作品制作	情報室1
	研修旅行事前学習	・研修旅行ガイダンス ・日程確認 ・班編成	63

演劇教室に向けて

10月9日(水)は演劇教室です。

I部は午前、II・III部は午後に分けて行います。

今年は、わらび座の「KINJIRO!」を鑑賞することになりました。

あらすじ

二宮金次郎と聞いて思い浮かべるイメージはなんでしょう？「薪を背負って本を読む銅像！」そうですね。「苦労した人！」そうですね。「真面目な人！」そうですね。あとは？「???」。そうですね。おそらく多くの皆さんにとって二宮金次郎について知ってることは例の銅像のみ。いつごろ活躍した人か、だいたい、どんな活躍をした人かも知らない。私もそうでした。物書きのくせにお恥ずかしい。どうもあの銅像のせいなのか、真面目で堅物な人と思いついてしまっていて、お笑いや遊びが大好きな自分とは無縁な人と勝手に決めつけていたのです。ところがこのたび、この作品を書くために金次郎さんのことを調べて驚いた。なんと面白い、魅力的な人でしょう。

二宮金次郎(1787年~1856年)は小田原の生まれ。金次郎(金治郎)は通称で大人になってから尊徳と名乗りました。この人の業績をおおざっぱに一言で言うと、日本中の村おこし。大飢饉や天災が全国を襲った時代、なんと600もの村の再興に関わったのです。机上のプランを立てただけではありません。多くの地域に足を運んで土地や村の有り様を調べ、人々と絆を結び、それぞれの村に合った方法を考え抜いて、再興のために汗を流したのです。イメージとは違って自然体で豪快な人物だったようです。俳句をたしなむ風流なところもあれば、落ち込んで行方不明になるような人間味もある。天地・宇宙を見据えた広大な思想。科学・合理の精神に基づく技術論。さらに人情を深く理解し皆が気持ちよく働ける環境を整え……。もうね、この人が現代に生きていたら世界中から引っ張りだこのスーパー経営コンサルタントになっていたと思います。技術、農業、経営、教育、政治……。さまざまな分野に才を発揮した江戸時代のミケランジェロみたいな……。

そんな金次郎の人物と生き方を笑いと音楽たっぷりに描くのが「KINJIRO!~本当は面白い二宮金次郎~」です。「将来、どんな人になろうかな。どんな仕事をしようかな」と考え中の学生さんも、「村おこしや町おこしのことが気になるな。仕事のアイデアがないかなあ」という大人の皆さんも、人生や仕事のヒントがいっぱい見つかると思います。

芝居が始まる前は銅像のことしか知らなくても、観終わったときには「金次郎、すげー！」となってること間違いなし。是非、是非、観に来てください。

わらび座ホームページより

他校との合同での観劇となります。みんなが楽しめるように、観劇のマナーをしっかりと守ってください。行き帰りの途中で交通事故に合わないよう、自転車などのルールもしっかり守りましょう。今回の駐輪場所は、文翔館の裏になります。有意義な演劇鑑賞となるよう、一人一人しっかりと心がけて行動しましょう。

<保護者の方々へ>

教務旬報は、ホームページでもご覧いただくことができます。モバイルサイト(スマホで閲覧可能)も対応しています。

アクセスは以下のアドレスへ

<http://www.kajogakuen-h.ed.jp/htdocs/定時制の課程/生徒・保護者の方へ/>

もしくは、「霞城学園高校」で検索をお願いします。

